

自治会連合会会報

第22号

自治会・町会・地区・区は地域の輪

自治会・町会・地区・区では、地震・風水害等の災害に備えての自主防災活動や要援護者の避難支援、青少年の健全育成、交通安全パトロール、環境美化活動、住民同士の交流を深めるための活動等を行っています。地域の輪を広げるため、自治会・町会・地区・区に加入しましょう。



平成29年5月27日「かすかべ・コミュニティフェスティバル」での自治会加入促進活動

● 主な内容 ●

- 我が街の活動紹介
(各自治会・町会・地区・区の特徴及び活動状況紹介)
- 各研修会報告
- 地域貢献賞表彰報告
- 自治会加入促進事業報告
- 豊春地区の紹介
- 自治会連合会役員一覧
- 地域ぐるみでオアシス運動

平成29年度活動報告

- 正副会長会議…………… 平成29年4月19日他 7回
- 理事会…………… 4月19日他 6回
- 定例総会…………… 5月12日
- 自治会活動の手引き発行…………… 5月12日
- 春のグリーンデー…………… 5月28日
- 各地区体育祭の実施…………… (豊春地区) 10月1日
(粕壁・内牧・武里・幸松・豊野・庄和地区) 10月8日
- 役員研修会…………… 11月2日
- 研修会(講演・地区事例発表)…………… 11月17日
【演題】「自治会未加入者に対する自治会加入の取組について」
【演題】地区事例発表「豊春地区 豊町自治会」
- 研修会(講演)…………… 平成30年2月14日
【演題】「自治会の魅力を伝え未加入者の加入促進をはかる」
- 地域貢献賞表彰…………… 2月14日

【協力事業】

- ★日赤社員・社協会員の増強への協力
- ★赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力
- ★災害時要援護者避難支援制度へのモデル自治会として協力
- ★ごみの減量化、資源化への協力
- ★自主防災・防犯活動への協力
- ★各種審議会等への委員選出
- ★各種行政機関との連絡調整

【その他】

- ★東日本大震災で被災された方々への義援金及び支援金募金活動
- ★熊本地震で被災された方々への義援金募金活動
- ★糸魚川市大規模火災義援金募金活動

我が街の活動紹介

<平成29年度>



本町地区会



地区会長
坂田好之

本町地区会は、大落古利根川沿川に栄えた日光街道粕壁宿のあった市内の中心に位置しており、現在163世帯の住民で構成されています。当会では、クリンデー、春日部夏まつり、地区体育祭、防災訓練、古利根川清掃活動等の行事をおこなっています。

近年『まちおこし』として、碓山（いかりやま）のイヌグスなどを中心に粕壁宿場の景観復活を計画し着々と整備をしています。

また、春日部市商工振興センター（アクシス春日部）の跡地についても、地域住民との意見交換を行い整備計画の実施に向けて議論を進めております。さらに来春には地区内にマンションの建設が進み新たに84世帯の

住民が加わることで活気づいております。

結びに、自治会連合会の一員として安全で住みやすい街に発展するよう努力してまいります。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

※碓山《春日部駅の北方400m位の所に流れる古利根川のすぐそばに碓神社のイヌグスの木があります。昔、粕壁宿は米麦の集散地で、古利根川を行き来する帆掛け船の格好の目標であったと思われまふ。この木のあゝる辺りがかつて船着き場であったことから、木の根元に祭られている祠を碓神社と呼ぶ由来となっております。イヌグスとはタブノキのことで、クスに似ているが木質が劣るのでイヌグスと呼ばれています。埼玉県特別天然記念物 幹周・4.4m、樹高・12m、推定樹齢600年》

内牧二区自治会連合会



会長
藤 齋 栄

内牧二区自治会連合会は内牧台地に広がり、共栄大学や内牧アスレチック公園周辺から北西に位置しています。約500世帯で構成されており、周囲はさいたま市や白岡市、宮代町に隣



自主防災訓練

接しています。自治会活動としては、春のクリンデーや夏祭り、秋の防災訓練、地区体育祭など多くの会員・参加者の協力の下、活動しています。

課題は多くありますが、一つはやはり高齢化に対してどのような取り組みが出来るのかと考えています。多くの自治会と同様に、当自治会も高齢化が進んでいます。国の施策である「地域包括ケアシステム」の構築・推進のなかで、当自治会がどのような関わりができるのか、またすべきなのか検討中です。さらには、人間は年代や立場によって見えていたものが見えなくなったり、気付いていたものも気付かなくなったりします。異なる年代・立場の方の意見やアドバイスが自治会運営の要となるでしょう。若い活力や熟年の知恵が混在するからこそ得られ

備後宮田自治会



自治会長
橋本和久

る「地域力」を住民と共に育てていけるよう、皆が分け隔てなくやり取りできる機会を設けていきたいと考えています。自治会の役割は、地域住民が快適に生活できるようにすることです。役員・会員皆で試行錯誤しながら素敵なまちづくりができるよう活動していきたいと思ひます。

備後宮田自治会はその前身を宮田町会と称し、昭和42年4月に典型的な新興住宅として約80世帯の住民で誕生しました。現在は備後宮田自治会に改称され500世帯1400人が暮らしている成熟した自治会となっております。

自治会の位置は東に国道4号、西に東武線が走る、その中間にあり、一ノ割駅から武里方面に徒歩で5分という、静かな町で最適な住環境です。

自治会活動については、全会員が参加することを理想とし、組織作りをしています。全体を8区に分け、その中に49班を作り、選出された49人の班長さんが会員のリーダーとして活躍さ

碓山 碓神社のイヌグスの木



宮田ちびっ子広場第1の草刈り

れています。役員は会長はじめ15人体制で自治会行事を運営しています。

当自治会は、7年前から大規模災害対策に力を注ぎ、毎年自治会予算の10%を防犯防災費に充て、防災倉庫の中に飲料水やアルファ化米、ビスケット等の食料品を会員数分確保し、他に簡易トイレ3台・医薬品・ TENT5張り・大小2基の発電機・テープル40台・折りたたみ式パイプイス80脚等を備蓄しています。

今年度から高齢者対策と、空き家対策に重点を置き、会員の意見を集約して役員会で検討しその時点で最良と決まったことを実行したいと考えていますので、皆様のご指導と絶大ななるご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



自治会長

針谷 明

一ノ割本田第一自治会

一ノ割本田第一自治会は武里地区に属し、一ノ割駅を中心に「子育て呑龍」と呼ばれた呑龍上人の御誕生地でもある一ノ割一丁目の一部、四丁目の一部、備後東一丁目の一部からなる300世帯の自治会です。地域内は、一ノ割香取神社と圓福寺の初詣や、4月第一日曜日に開催される「圓福寺まつり」では、市指定有形文化財の曼陀羅堂宝物の一般公開や模擬店などで賑わいますが、住民の高齢化は進んでいます。住民の高齢化は進んでいますが、ルネサンス呑龍幼稚園に園児が集まるので若さ溢れ、住民を見守る一ノ割交番、一の割呑龍通り商店会や金融機関、一ノ割駅などがあり一般的な住宅街より人通りが多い街です。

一ノ割本田第一自治会は、一ノ割本田第二自治会、一ノ割本田第三自治会、一ノ割根耕地自治会、一ノ割新田・大沼自治会の5自治会で一ノ割町会を結成して、大部分は一ノ割町会として活動しています。

基本的な活動として、5月の定期総会開催、春のクリーンデーの参加、7月の夏祭り開催(神



定期総会

興・子供神輿、盆踊り、三世交代のゲームやカラオケなどのイベント)、8月の囲碁将棋大会開催、10月の武里地区体育祭の参加、自主防災訓練の開催、1月の新春の集いの開催などがあります。その他の活動として、市と契約して公園3か所の草取り・清掃、県と契約して会之堀川河岸の草刈りと花の管理、学童の登下校時の見守り、青パトによるパトロールや毎月第三水曜日夕方の町内パトロール、武里小学校放課後子ども教室(わかたけっこひろば)への協力、羽子板に関するイベントへの協力(昨年度実績・武里西小学校、粕壁小学校など6校)などがあります。

町会内にある老人ホームとは災害時に協力し合う協定を結び、老人ホームの防災訓練にも参加しています。

皆様と協力し、住んでいて良かったと思えるまちづくりに努めていきたいと考えています。



自治会長

小暮 恵治

増戸地区自治会

増戸地区は、春日部市の西端に位置する閑静な田園地帯で、旧古隅田川の堤防跡に雑木林や野鳥など多くの自然が残っています。地区内南側には国道16号が東西を横断し、道路沿いに車検場や大型の物流倉庫等が点在しています。

自治会の加入会員数は、260世帯で加入率は全世帯数(学生寮を除く)に対し、91%となっています。(平成29年12月現在)

自治会の事業は、①毎月実施する班長会議での身近な問題の解決 ②春と年末のクリーンデーによる地区内清掃 ③豊春地区防災訓練への参加 ④豊春地区体育祭への参加 ⑤サツマイモ栽培体験教室(植付と収穫)の開催 ⑥三世交代交流もちつき大会の開催等で、これらの事業を通じて地区内会員相互の交流とコミュニケーションの促進を図っています。

更に、当自治会は「安全で安心して暮らせるまちづくり」を



サツマイモ栽培体験教室

目標に、14名の防犯パトロール隊員による地区内巡回パトロールも行っています。また、会員の高齢化を踏まえて、「増戸地区災害時要援護者救援体制」を構築するため、万が一の災害発生時に、自分ひとりや家族の力だけでは避難できない会員を、地域で支えあう互助組織を立ち上げたところです。

今後とも、事業の継続を通して会員の皆様が生き生きと明るく過ごせる地域社会を目指してまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。



自治会長

一ノ宮 敏昭

八丁目新田自治会

私ども八丁目新田自治会は春日部駅の東口側、公園橋通りと

県道西宝珠花春日部線の間の地域で国道16号の南側に位置しており、旧倉松公園・旧倉松第一調節池・県立春日部特別支援学校の東西に住宅が広がっています。自治会は正副会長の他に顧問、書記、会計、監事、クリーン推進委員、体育振興委員、防犯推進委員、民生委員、祭典委員と自治会内13班の班長・副班長で構成され会員数は約150世帯です。市外の方に「春日部市八丁目」に住んでいます…と伝えると、春日部市のどこの8丁目ですか？ と聞かれることがあります。埼玉県地名誌によれば、この「八丁目」という地名は「八丁免」の意で荘園時代にすでにその名前があったといわれています。幸松地区に属する八丁目は八丁目新町地区、八丁目上組地区、八丁目新仲町会、八丁目下組地区会、八丁目新田自治会、八



春のクリーンデー

丁目五丁田地区の6地区で構成されています。私も自治会の南端、八丁目下組地区会さんとの間の旧倉松落（おとし）に4連のアーチを持つ春日部市指定有形文化財「めがね橋」があります。これは現存するレンガ造り樋門としては県内2番目に古いもので先日も埼玉テレビの取材があり放映されました。皆さんもぜひ一度お出かけ下さい。また、毎年7月の春日部夏まつりには「千貫御輿」が八丁目各地区を渡御し老若男女と夏休み前の子供たちでにぎわいます。写真は春のクリーンデーに集まった会員の様子です。

本田下自治会



自治会長 越沼正一

私たちの本田下自治会は、藤塚地区の一番南に位置し、銚子口地区に接しています。

自治会の中心に集会所、東国寺、東に藤塚小学校、南に霊園、西には古利根川が流れており、藤塚橋の近くにも飛び地があります。

当自治会は、田園風景と閑静な住宅地にあり、戦後しばらくの間は、農家だけの集落でしたが、昭和40年代に入り経済の成

長とともに宅地開発が進み、年々世帯数が増え、現在では、175世帯になりました。

自治会の組織は、会長、副会長2名（1名は会計兼務）、監事、班長などで運営され、毎月2日に班長会議を開催し、広報の配布や行事の連絡、情報交換などを行っています。

年間の活動は、新年会、定期総会、ふれあい会食会、見守り活動、防犯パトロールなど自治会の皆様の協力により行っています。

さらに、古利根川清掃・春のクリーンデー・地区体育祭・合同自主防災訓練への参加もしています。

その他、「カラオケ会」があり、毎月2回、集会所において、自慢のものを披露しています。また、「こども会」も、ジャガイモ掘りなどの活動をしています。



合同自主防災訓練

これからも行政との連携を図りながら、地域の交流と親睦を深め、特にお年寄り子ども達を大切に、安全で安心して住みやすい自治会を目指し、活動を推進していきたいと思っております。

今後とも皆様方のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

南桜井ローズタウン自治会



自治会長 岩崎忠信

南桜井ローズタウン自治会は大袈地区に属し、南桜井駅の北西、徒歩約12分に位置し近くに正風館や生協大袈店があります。62戸（61世帯）およそ150名ほどの小規模な自治会です。

自治会組織は、会長(1)副会長(2)会計(1)書記(1)監査(1)の計6名で役員が班長を兼務して6班構成です。任期は1年間の輪番制です。

「自治会活動」としては

① 日常活動

広報（自治会だより、年間5回）発行、市・学校刊行物の配布や掲示

② 環境衛生活動

春のクリーンデー、秋の自治会独自による清掃活動



自主防災訓練

③ 防災・防犯活動

① 防災活動は専門の講師による講演会（3年連続実施）

② 市・防災対策並びに庄和消防署の指導・協力による防災・防火訓練

③ 地区パトロール、月2回の学校下校見守り

地域との交流活動としては、春日部市との連携活動「行政報告会への参加」「市行事への参加」「大袈地区との連携活動」。

自治会が発足して37年となり居住者の高齢化も徐々に進んでいます。自治会員の皆さんはスポーツやボランティア活動で健康管理に努めている元気な自治会です。

長年続いた納涼祭に代わって昨年度からは自治会員有志による親睦会を開催するようになりました。和気あいあいと纏まりのある素晴らしい自治会だと自

負しています。

これからも会員の皆様の「安心」「安全」の為、見守りを増やし、地域との連携を大切にしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

小平区



区長 染谷 清

小平区は、旧庄和町の北東部に位置し江戸川に沿った純農村です。

世帯数は45戸あり、そのうち9割が農家です。肥沃な土壌に恵まれ稲作、ハウス野菜栽培が盛んです。近年散歩やマラソンをする姿が数多く見られ、のどかな田園風景となっています。

小平区では「地元は地元で綺麗にしよう」をモットーに全区をあげて、農水省政策の多面的機能支払共同活動、土地改良区交付金を活用した公道水路の草刈りを年5回、毎回9割以上の参加者また地元有志による水路、排水路の整備などの環境活動に積極的に取り組んでいます。地域の課題としては、担い手農業者の高齢化、後継者問題があげられます。

また、近くには日本が世界に誇る地下水路を備える龍Q館が

建設されましたが、ゲリラ豪雨や大雨による冠水やその他作物の被害が解消されない地域があるのも悩みの一つです。

他にも、耕作放棄地の増加や害獣(タヌキ等)による作物被害、ゴミの不法投棄など地域が抱えている問題はたくさんあります。

このような課題解決に向けては、農業委員会の新組織、農地利用最適化推進委員や地域課題を調査分析するために区で立ち上げを進めている専門部会の活躍が大いに期待されると思います。

今後も区自らの活動はもちろん、市と連携して地域課題の解決に努めるとともに、皆さんが安心して暮らせる地域づくりを目指していきたいと考えておりますので、皆さんのご支援・ご協力をお願い致します。



公道水路の草刈り

自治会連合会研修会報告(第1回)

変容する地域コミュニティと自治組織の未来

自治組織の未来

平成29年11月17日(金)、中央公民館にて自治会連合会研修会を開催し、講演会と地区事例発表を行いました。



講演会では、明治大学 政治経済学部 教授の 大高 研道(おおたか けんどう)氏を講師に迎え、「自治会未加入者に対する自治会加入の取組について」をテーマに、お話いただきました。

少子高齢化の進行や労働環境の変化、単独世帯の増加などの社会的変化により、従前と比べて地域コミュニティの形が変容してきています。そのような中にあつては、自治会の存在意義や機能を再確認する必要性や、困りごとこそ「つながる」チャンスと捉え、自治会活動をつなげる「手段」にしていく必要性があるのとこの点でした。

様々な統計による分析のほか、講師自身の自治会活動での体験談も交えてご講演いただき、参加者からも「とても分かりやすかった」との感想がありました。

地区事例発表 豊町自治会

地区事例発表は、地区全体、または各自治会で取り組んでいる活動を発表していただくものです。今年度は、豊春地区の豊町自治会の活動の中から、主に年間行事について発表がありました。豊町自治会には、歩こう会や芋掘り、デイキャンプや旅行など一年を通じて多くの行事があります。中でも夏の大イベントである夏祭りは、やぐらを組むところから自治会員で行うなど自治会員の結束力の強さがうかがえます。年末の防犯パトロール最終日には、手打ち蕎麦と揚げたての天ぷらで会員の一年の労を労います。防災訓練では、餅つき大会、緊急時を想定した炊き出し、大鍋を使った豚汁を自前で用意し、住民でいただくことが冬の風物詩となっています。豊町自治会で最も重視していることは、常日頃から共同作業で食事を作り、一緒に「同じ釜の飯を食べ」て自治会員同士の親睦を図ることだそうです。豊町自治会では、自治会独自のホームページを開設しており、今回発表された活動内容や様々な自治会情報を発信しています。興味のある方はぜひ閲覧してみてください。



役員研修会

自治会連合会では、様々な活動を行っている自治体を視察し、自治会活動の参考とするため、役員研修会を毎年実施しています。今年度は11月2日(木)、自治会加入促進の取組みをテーマに、東京都立川市自治会連合会（以下「立川市自治会連」）を訪問しました。

立川市は東京都のほぼ中央、西よりに位置する人口約18万人の都市です。自治会加入率が年々低下するなか、地域のつながりを強化し、災害に強い安全・安心な地域づくりを目的に、平成25年度から「絆」カードを導入しています。カードは、自治会加盟自治会の会員各世帯に配布され、自助・共助の説明や災害時の緊急連絡先などを掲載するほか、カードの提示により市内の企業・商店等において各種の優待サービスが受けられるものです。カードの優待サービス機能については、立川市自治会連として、会員に対して直接的な支援ができないかというところから発案し、実際に優待サービスの機能を付加することで、会員が常日頃からカードを所持するようになり、防災啓発に繋がったとのことでした。「絆」カードは年々協賛企業・商店数が増え、会員からも非常に好評を得ているとのことでした。

また、立川市自治会連では、独自のホームページを作成しており、自治会に加入するメリットや活動報告を掲載するほか、単位自治会ごとの紹介ページを掲載することにより、効果的に自治会情報を発信しているとのことでした。

研修会の中では、質疑応答や意見交換も行い、予定時間を超過するほど活発な意見が交わされ、大変有意義な研修会となりました。立川市自治会連合会及び同会事務局の皆様、誠にありがとうございました。



地域貢献賞表彰報告

当連合会では、身近な地域で地道にかつ立派な活動をされている方々の功績をたたえるため、平成20年度に地域貢献賞を創設し、今年度は平成30年2月14日、16人、2団体の皆様に市民文化会館で表彰をさせていただきました。ここに受賞をされた皆様のお名前を掲載し、長年地域に貢献していただいたことに深く感謝申し上げます。また、市民の皆様には、地域活動に関心を高めていただき、心豊かに安心して暮らせる地域社会づくりに、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎公共生活・生活安全・環境美化・社会福祉への貢献

自治会名	氏名
仲町町内会	小川 一博
川久保自治会	市川 功江
立沼町会	山本 修二
内牧四区地区	西野 正男
梅田本町地区	須田 道夫
栄町一丁目町会	栗原 功
正善第二自治会	小嶋 利夫
備後須賀第5自治会	樋野 彌生
大枝東自治会	池の端クラブ パトゾウ隊
谷原中央自治会	小山 宣子
花積西自治会	小林 永三郎
ふじの街自治会	斎藤 芳男
八丁目新仲町会	生澤 正子
牛島4番地区自治会	倉松川を愛する会
赤沼自治会	関根 光男
本田上自治会	野澤 和子
三本木自治会	小川 太一郎
米島駅南地区	二階堂 永子

*敬称略

自治会連合会研修会報告(第2回)

平成30年2月14日(木)に市民文化会館で開催された自治会連合会研修会で「自治会の魅力を伝えて未加入者の加入促進をはかる」をテーマに、春日部市出身の落語家、桂小南(かつら こなん)氏を講師にお招きし、ご講演を頂きました。

桂小南さんは、幼少期から春日部市で育ったということもあり、落語の演目「そば清」の節々に春日部のエピソードなども織り交ぜながら演じてくださり、笑いあふれる研修会となりました。

平成29年度 春日部市自治会連合会研修会及び地域貢献賞表彰式



自治会加入促進事業報告

自治会加入促進月間11月1日(水)～11月30日(木)

① 7地区加入促進キャンペーン 6日(月)～23日(木)

内容

地区連合会単位毎に駅頭、商業施設、公共施設等で自治会への加入促進を呼掛けるためキャンペーンの啓発品を配布するほか、未加入世帯宅への訪問を行いました。

※啓発品は加入促進チラシ、ポケットティッシュ、反射シール

①	【地区連名】 粕壁地区自治会連合会 【開催場所】 ララガーデン春日部店 【日時】 11月23日(木・祝) 午前11時～12時 【出席者数】 7人 【啓発品数】 200袋	⑥	【地区連名】 豊野地区自治会連合会 【開催場所】 カスミ春日部藤塚店付近 【日時】 11月8日(水) 午前9時～10時 【出席者数】 40人 【啓発品数】 500袋
②	【地区連名】 内牧地区自治会連合会 【開催場所】 内牧地区公民館 【日時】 11月12日(日) 午前10時～11時 【出席者数】 8人 【啓発品数】 200袋	⑦	【地区連名】 庄和地区自治会連合会 【開催場所】 南桜井駅北口ロータリー 【日時】 11月6日(月) 午後14時～15時 【出席者数】 7人 【啓発品数】 200袋
③	【地区連名】 武里地区自治会連合会 【開催場所】 ウイング・ハット春日部 【日時】 11月23日(木・祝) 午前9時～10時 【出席者数】 5人 【啓発品数】 200袋		
④	【地区連名】 豊春地区自治会連合会 【開催場所】 コモディイイダ豊春店 【日時】 11月11日(土) 午前10時～11時 【出席者数】 6人 【啓発品数】 200袋		
⑤	【地区連名】 幸松地区自治会連合会 【開催場所】 マミーマート(株)TOP春日部店 【日時】 11月6日(月) 午前10時～11時 【出席者数】 5人 【啓発品数】 200袋		



粕壁地区のキャンペーン活動の様子

② パネル展示 6日(月)～16日(木)

内容

自治会で行われている各種イベント、行事などを紹介することで、自治会加入へのきっかけとするため市役所ホール及び庄和総合支所ホールに約60点の写真を展示しました。

①	【場所】 春日部市役所ホール 【日時】 11月6日(月)～10日(金)	②	【場所】 庄和総合支所ホール 【日時】 11月13日(月)～16日(木)
---	--	---	---

成果

7つの地区連合会ごとに実施した加入促進キャンペーンには、78人の参加者が集い、自治会加入に向けた啓発活動を行いました。地区ごとに、人がにぎわう場所を会場としたことで、多くの住民の方々に自治会加入のメリットや自治会活動のPRが出来たと思います。

また、パネル展示事業では、昨年よりも展示期間を長く設けたことにより、多くの方々が足を止めて各自治会の活動パネルに見入る姿が見られました。

11月の加入促進月間ではこの他にも、立川市への役員研修会や、中央公民館での自治会連合会研修会などの事業を実施し、自治会連合会員の意識高揚も図れたものと思います。

ご参加いただきました自治会連合会員の皆様におかれましては、誠にありがとうございました。

本年度の啓発活動に向けて

地域コミュニティの維持・活性化には、日頃からの地域におけるコミュニケーションが重要です。今年も様々な活動をしている自治会の事例や会員皆様のご意見を参考にしながらより良い事業となるよう研究して参りますのでご支援のほどよろしくお願い致します。

豊春地区の紹介

豊春地区の形成は、16世紀後半の利根川東遷以前の平安、鎌倉期まで遡る地勢にあります。往時古利根川は利根川本流であり、小淵から浜川戸を経て豊春地区を横断して元荒川に至り、吉川市から東京湾に注ぐ大河でした。

市の鳥ユリカモメは、伊勢物語の中で在原業平が隅田川（古隅田川）を渡るときに詠んだ歌にある都鳥（ユリカモメ）に由来しています。白き鳥の、嘴と脚と赤き、川のほとりにあそびけり。京には見えぬ鳥なりければ、みな人見知らず、渡守に、「これは何鳥ぞ」と問ひければ、「これなむ都鳥」と言ひけるを聞いてよめる

名にしおはば いざ言問はむ 都鳥 わが思ふ人は ありやなしやと
今も冬になると、都鳥を古利根川で見ることができます。また、謡曲「隅田川」の舞台である豊春には、梅若丸伝説を伝える梅若塚が満蔵寺門前にあります。

江戸時代に入ると新田開発も進み耕地も増加します。明治22年に近隣12村により「耕作の豊かに熟する如く、各村の和熟を望んで」人口2,615人をもって豊春村が発足しました。現在の豊春地区は、人口42,971人です。

豊春地区自治会連合会には30自治会が加盟しています。これからも関連する団体、社会福祉協議会豊春支部、防犯協議会豊春地区連絡会、補導会、民生・児童委員協議会、体育振興会などと協力し、豊かな春のごとく安心安全の地域づくりを目指して自治会活動にあたります。

豊春地区自治会連合会 会長 山口 潤

●豊春地区自治会連合会 (30自治会)

自治会名	代表者氏名
谷原中央自治会	清水秀雄
谷原一丁目自治会	向山秀雄
谷原二丁目自治会	高橋宣雄
谷原三丁目自治会	園田俊博
大沼ゆりの木自治会	田代一二
下谷原地区自治会	小川寛
上大増自治会	小島喜作
下大増自治会	阿部光雄
豊町自治会	石島光男
豊町東地区自治会	高倉康有
豊町西地区自治会	内田勝広
豊町南立野自治会	海老原秀夫
増富地区自治会	石塚郁志
増富東地区自治会	角田昇
増戸地区自治会	小暮恵治
上蛭田地区自治会	関根金次郎
上蛭田西自治会	吉田敏雄
下蛭田自治会	小保方敏美
下蛭田中央自治会	細井隆治
花積地区自治会	斉藤千松
花積西自治会	富沢千明
道口蛭田地区自治会	齋藤安行
ルネ春日部自治会	岡本茂雄
南中曽根地区自治会	岡崎茂雄
宮川自治会	鶴見征亮
新方袋連合自治会	山口潤
サニータウン春日部自治会	紅林宏
ふじの街自治会	仲賢吾
八木崎文化村自治会	白石賢治
春日部グリーンコープ自治会	竹内信夫

*連合会名簿順 (平成30年3月現在)

自治会連合会役員一覧

役職名	自治会名	氏名	役職名	自治会名	氏名
会長	本田上自治会	時田 美野吉	理事	大沼ゆりの木自治会	田代 一二
副会長	元新宿町内会	関根 慶 剛		増戸地区自治会	小暮 恵 治
	内牧四区地区	野村 三 男		豊町自治会	石島 光 男
	大枝地区自治会	伊澤 秀 雄		上蛭田地区	関根 金次郎
	新方袋連合自治会	山口 潤		八丁目下組地区会	栗原 英 之
	牛島4番地区自治会	鈴木 敏 仁		小淵島自治会	菱沼 和 保
	東中野区	松嶋 昇 生		赤沼自治会	関根 寛 治
理事	立沼町内会	並木 素 生		新川島自治会	高橋 慎 一
	大池町内会	筧田 吉 一		米島駅南地区	石田 慎 昭
	大砂町内会	中村 正 博		木崎区	新井 義 忠
	春日町町内会	齋藤 富 男	永沼区	林 忠 雄	
	梅田二区自治会	田中 良 司	事務局長	内谷町会	松崎 幹 夫
	一ノ割新田・大沼自治会	金重 一 夫	会計	下蛭田自治会	小保方 敏 美
	備後東六丁目地区自治会	関口 守 弘	監事	梅田本町地区	須田 秀 雄
	備後須賀第四自治会	野村 幸 男		小淵追分自治会	柴田 秀 夫
	武里中野地区自治会	山崎 勇 喜		西宝珠花区	泰 楽 富 夫
	大場駅西自治会	上 原 進			

(敬称略)

地域ぐるみでオアシス運動

オアシス運動は挨拶の言葉の頭文字をとったもので、
「おはようございます」
「ありがとうございます」
「失礼します(失礼しました)」
「すみません(すみませんでした)」
を日ごろから言うように、家庭・学校・地域などで「あいさつの輪」を広げましょう。

編集後記

毎年のように見舞われる自然災害、そして高齢化が急速に進行する中で、互い協力して支え合う地域づくりが求められています。

本誌の表紙は昨年5月に開催された「かすかべコミュニケーションフェスティバル」の写真です。自治会連合会では、このイベントに参加して各自治会の活動の紹介と自治会への加入を呼びかけました。

各自治会では日頃から行事や催しを通して顔の見える交流を進めています。

自治会連合会では、これからも地域の「絆」を大切に、誰もが安心して暮らし続ける地域づくりに取り組んでまいります。

そのためには何よりも地域に住み地域で生活する皆様一人ひとりのお力が必要です。

まずはできることから自治会活動に参加して、より良い地域づくりを共に進めましょう。

編集委員氏名

- 会長 時田 美野吉
- 副会長 関根 慶 剛
- 副会長 野村 三 男
- 副会長 伊澤 秀 雄
- 副会長 山崎 勇 喜
- 副会長 鈴木 敏 仁
- 副会長 松嶋 昇 生
- 副会長 齋藤 富 男

発行日 平成三十年四月一日
発行者 春日部市自治会連合会
事務局 春日部市役所市民参加推進課内
〇四八(七三六)一一一(代)